

地域づくり計画(2023/0601検討)

<p>地域で掲げられている目標</p>	<p>理念:障がいのある人もない人も、ともに暮らし続けられるまち ~あいとぴあ泊江~</p>					
<p>チームで掲げる目標</p>						
<p>地域課題</p>	<p>地域課題の分解</p>	<p>活用する社会資源</p>	<p>どのように活用するか</p>	<p>いつまでに達成するか</p>	<p>相談支援部会の役割</p>	<p>検討会議・協議会の役割</p>
<p>①泊江市では、セルフプランを使われている方に対しても相談支援事業所として繋がる仕組みづくりが必要</p>	<p>・市役所窓口での対応方法 ・相談支援事業所がリファーされた後の対応方法</p> <p>・市外の事業所が相談支援を行った時のフォロー体制</p>		<p>・相談支援事業所は優先順位を挙げて受けていく ・受けた後の報告を行う ・相談支援の質を上げていく</p> <p>・相談支援事業所が移行先へ提供した資料を共有する</p>	<p>6月から</p>	<p>・市から提供されたケースを共有する ・セルフプランの利用者受けている事業所名を共有する(高齢障がい課で持つデータなど) ・事業所変更がかかったケースを共有する</p> <p>・市内⇄市外へ移った場合について共有しながら社会資源を考える市が把握できていない事例を提供する</p>	<p>・専門部会での課題をチェックしていく ・資源についてわかりやすく説明をしていく ・進捗のチェックをしていく</p>
<p>②泊江市では福祉サービスを利用されていない児童期の方への支援が必要</p>	<p>・福祉サービスを利用していても目が届かないケース ・繋がりにくい方(社会的無支援の方)へのきっかけづくり ・医療のみ繋がっている方 ・福祉サービス自体を拒否されている方(あるいは家庭)</p>	<p>・市内の相談支援事業 ・協議会の場</p>	<p>・教育相談やチャレンジ校との関係 ・スクールソーシャルワーカーや子家センとの関わりの仕組みを作る ・検討会での課題提供を依頼していく</p>	<p>年度内</p>	<p>・スクールソーシャルワーカーや子家センを招いて情報共有していく</p>	
<p>③泊江市では、就労移行支援事業所に伴う様々な実態把握(事業所の情報、サービス等)が不足</p>	<p>・検討会において事業所の質など話をする ・就労支援センターの役割や実態を報告</p>		<p>検討会へ依頼していく</p>	<p>年度内</p>	<p>・過去に行っていたような事業所紹介を含めた研修の場をつくる(市民、当事者、家族が参加)</p>	